

# エコアクション21 環境経営レポート

対象期間 : 2023年8月1日~2024年7月31日



発行日 2024年10月1日

株式会社  
チューゲイ

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な開発目標（SDGs : Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定された ミレニアム開発目標（MDGs） の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

## 目次

1. 組織の概要	P1-6
2. 認証・登録の対象範囲	P7
3. 環境管理体制	P8
4. 環境経営方針	P9
5. 基準年の環境負荷と環境経営目標	P10-11
6. 環境経営目標・計画に基づき 実施した取組内容とその評価	P12-13
7. 環境経営目標の実績及び取組結果とその評価並びに 次年度の取組み内容	P14-22
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P23
9. 環境管理責任者による全体の評価と見直し指示の結果	P24-25

# 1.組織の概要

- (1)事業所 株式会社チューゲイ
- (2)代表者氏名 代表取締役 西田 輝之
- (3)所在地
- 本社 広島県庄原市中本町一丁目3番31号
  - 業務管理センター 広島県庄原市東本町一丁目1589番地2
  - 三次営業所 広島県三次市南畑敷町470-7 2階
  - 広島支店 広島県広島市安佐南区西原四丁目35番7号
- (4)法人設立年月日 1969年8月11日
- (5)資本金 1,000万円
- (6)事業内容 総合ビルメンテナンス業
- (ビル清掃、ビル環境衛生管理、常駐警備、消防設備点検)
- 廃棄物収集運搬業、再生資源収集業、建設業、人材派遣業
- (7)事業年度 8月～7月
- (8)事業の規模 2023年度（2023年8月～2024年7月） 売上高 896百万円

	本社	業務管理センター	三次営業所	広島支店	合計
従業員 (EA21)	110名 (83名)	11名 (16名)	31名 (23名)	56名 (37名)	208名 (159名)
延床面積	66㎡	倉庫234㎡ 休憩室36㎡	78㎡	98㎡	512㎡

(9)環境管理責任者及び

担当連絡先

環境管理責任者 西田 輝之

環境事務局 木下 亜貴子

連絡先 ■Tel 0824-72-0655 ■Fax 0824-72-7581  
■e-mail [support@chugei.co.jp](mailto:support@chugei.co.jp)



## 企業理念

“ビルメンテナンス業を通じ、地域社会に貢献し、  
物心両面に豊かな社員を育てる”

## 社是

“明るく積極的に”

## 行動指針

“ガッツ&スマイル私がやらねば誰がやる  
笑顔と真心で奉仕”

## 2024行動目標

- ①自らの業務を自分事として捉え、責任感を持って臨もう！
- ②お客様目線に立って、率先して抜けなく素早く行動に移そう！

# ビルメンテナンス業とは？

“建物に関わること、  
まるっと全てが仕事”



# ビルメンテナンス業とは？

- 建物構造部の点検調査
- 建築設備の点検調査

点検整備業務

衛生管理業務

衛生管理業務

- 貯水槽の清掃
- 空調の点検
- 害虫駆除

建物・設備  
保全業務

警備・防災  
業務

警備業務

清掃管理業務

清掃管理業務

建物の中・外の掃除

- 巡回・警備
- 防犯防災業務  
(消防計画立案等)
- 駐車場管理

運転保守業務

設備  
管理業務

- 電気通信の点検管理
- 空調機器の点検管理
- 消防設備、エレベーターの  
点検管理

- 受付・案内
- エレベーターの運転
- 電話交換
- メールサービス

ビル管理  
業務

管理サービス  
業務



## ビルメンテナンス事業～清掃管理業務～



高所作業車での  
ガラス清掃



廃棄物収集運搬



ハウス  
クリーニング



ベッド  
メイキング



カーペット  
洗浄



日常清掃



トラックマウント  
システム



床ワックス清掃

## ビルメンテナンス事業～環境衛生管理業務～



空気環境測定



空気触媒施工



飲料水貯水槽清掃



こん虫等防除



グリストラップ  
洗浄



蜂の巣駆除

## ビルメンテナンス事業～設備管理業務～

施設設備点検



電気設備点検



消火器点検



煙感知器点検



施設常駐警備

## 指定管理事業(広島県内の公営住宅の管理・運営等)

県営住宅団地群



高架水槽取替修繕



受水槽取替修繕

住宅修繕



敷地内舗装修繕



電気設備修繕

## 2. 認証・登録の対象範囲

### (1) 認証・登録対象事業所

- 本社 広島県庄原市中本町一丁目3番31号
- 業務管理センター 広島県庄原市東本町一丁目1589番地2
- 三次営業所 広島県三次市南畑敷町470-7 2階
- 広島支店 広島県広島市安佐南区西原四丁目35番7号

### (2) 事業活動

総合ビルメンテナンス業、一般廃棄物・廃棄物収集運搬業、建設業、人材派遣

### (3) 廃棄物収集運搬業の情報

パッカー車 2 t 2台 / 2.85 t 4台

■ 運搬車両の種類と台数 ダンプ車 3 t 1台 / トラック車 2.95 t 1台 計 8台

#### ■ 一般廃棄物処理業

- 許可番号 庄環境許第102号 / 庄原市
- 許可年月日 2024年4月1日
- 有効年月日 2026年3月31日
- 事業の範囲 庄原市内

#### ■ 産業廃棄物収集運搬業

- 許可番号 第03408151299号 / 広島県
- 許可年月日 2024年9月30日
- 有効年月日 2029年9月29日
- 事業の範囲

事業の区分：収集運搬(積替え・保管は含まない)

産業廃棄物の種類：廃プラスチック類、金属、ガラスくず、  
コンクリートくず及び陶磁器くず

#### ■ 再生資源収集業

- 許可番号 第12302号 / 金属くず業

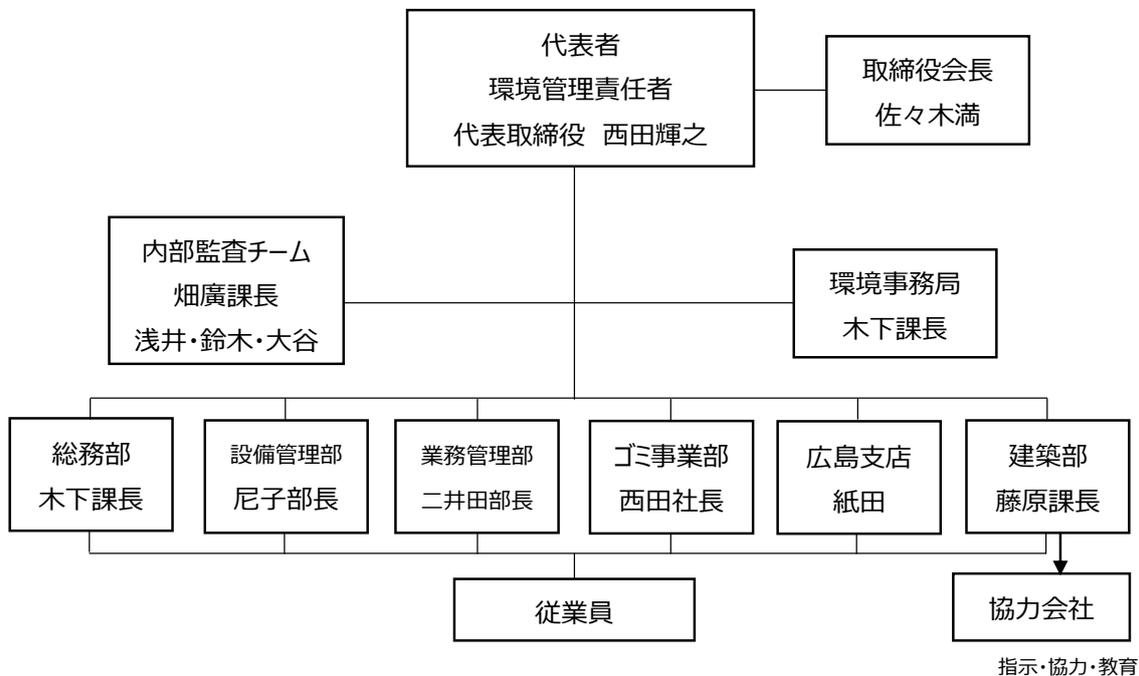
#### ■ 収集運搬量

一般廃棄物 1,002.72t / 産業廃棄物 2.66t /

再生資源 古紙319.75t 金属 12.83 t

# 3.環境管理体制

## (1)体制



## (2)役割・責任・権限表

役割・責任・権限表	
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題とチャンス の明確化</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>環境経営方針の策定・見直し</li> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境経営目標・環境経営計画の確認・承認</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表の最新版管理、遵守徹底</li> <li>環境管理責任者による全体評価と見直し、指示</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実施集計</li> <li>環境関連法規等とりまとめ表の作成及び管理、遵守評価の実施</li> <li>環境経営レポートの作成、公開</li> </ul>
内部監査チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する内部監査の計画、実施、報告</li> </ul>
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、継続改善</li> <li>自部門における必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書の作成</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## 4.環境経営方針

株式会社チューゲイは昭和44年の設立以来、県北地域を中心に総合ビルメンテナンス業を基盤とした企業活動を展開しています。地域社会における「一隅を照らす」存在として、必要とされ、信頼される会社を目指しています。そのため「ハイ、喜んで！」の精神の下、お客様の大切な財産を守り、安心安全で快適な環境の提供に、高い技術品質と真心サービスをもって取り組んでまいります。

また、深刻化する地球温暖化をはじめとする環境問題にも一人ひとり、一企業から取り組むべきと考え、環境経営システムを構築し、事業活動における環境負荷の軽減を図り、継続的に改善活動に取り組むと共に、「地域に生かされている」企業として社会的貢献に努めます。

### 【環境保全への行動指針】

1. 車両使用環境を見直し、軽油、ガソリンの消費を削減します。



2. 廃棄物の削減と適正処理に努めます。



3. 節水を励行します。



4. 化学物質使用量を削減し、適正管理に努めます。



5. 事業活動に係る環境関連法規等を遵守します。



6. 地域での環境活動に積極的に参加し、コミュニケーションを図り、環境保全に努めます。



7. 社員一人ひとりがこの活動を受け止め、意識向上と働く職場環境の改善に取り組みます。



2022年8月1日制定 / 2024年10月1日改定

株式会社チューゲイ 代表取締役 西田 輝之

## 5.基準年の環境負荷と環境経営目標

環境目標		基準年		年度目標	中期目標	
		2019年度 2019年8月～2020年7月		2023年度 2023年8月～2024年7月	2024年度 2024年8月～2025年7月	2025年度 2025年8月～2026年7月
I.二酸化炭素排出量の削減	本社	108,876 kg-CO <sub>2</sub>		104,520 kg-CO <sub>2</sub>	103,432 kg-CO <sub>2</sub>	102,343 kg-CO <sub>2</sub>
	広島支店	2022年度(3か月) 6,577 kg-CO <sub>2</sub>		(3か月) 6,314 kg-CO <sub>2</sub>	24,994 kg-CO <sub>2</sub>	24,731 kg-CO <sub>2</sub>
I-1)電力の使用量削減	本社	5,575 kWh		5,352 kWh	5,296 kWh	5,240 kWh
	業務管理	10,991 kWh (2021年度)		10,551 kWh (2022年度変更)	10,441 kWh (2022年度変更)	10,331 kWh (2022年度変更)
	広島支店	2022年度(3か月) 1,937 kWh		(3か月) 1,860 kWh	7,363 kWh	7,285 kWh
I-2)自動車燃料の使用量削減	営業部	ガソリン	14,292 L	13,720 L	13,577 L	13,434 L
	ごみ事業部	軽油	23,920 L	22,963 L	22,724 L	22,484 L
	広島支店	ガソリン	2022年度 (3か月) 2,197 L	(3か月) 2,109 L	8,349 L	8,261 L
II.廃棄物排出量削減 1)一般廃棄物削減、分別の徹底	ごみ事業部	1,208 kg		1,159 kg 3R運動の推進	1,147 kg 3R運動の推進	1,135 kg 3R運動の推進
	広島支店	2022年度(3か月) 55 kg		(3か月) 52 kg 3R運動の推進	209 kg 3R運動の推進	206 kg 3R運動の推進

2)受入廃棄物のリサイクル率の向上	ごみ事業部	38.22 %	42.22 %	43.22 %	44.22 %
3) 建設廃棄物リサイクルの推進	建築部	マニフェスト適正管理	マニフェスト適正管理	マニフェスト適正管理	マニフェスト適正管理
	広島支店				
Ⅲ.水使用量の削減	本社	169 m <sup>3</sup>	162 m <sup>3</sup>	160 m <sup>3</sup>	158 m <sup>3</sup>
	業務管理	46 m <sup>3</sup>	44.1 m <sup>3</sup> (2022年度変更)	43.7 m <sup>3</sup> (2022年度変更)	43.2 m <sup>3</sup> (2022年度変更)
	広島支店	2023年度(3か月) 25 m <sup>3</sup>	(3か月) 24 m <sup>3</sup>	97.3 m <sup>3</sup>	96.3 m <sup>3</sup>
Ⅳ.化学物質使用量の削減、適正管理	業務管理	購入量の把握	適正管	適正管理	適正管理
	広島支店				
Ⅵ.環境活動の実施	本社	通学時交通安全誘導 会社周辺の清掃	通学時交通安全誘導 会社周辺の清掃 ボランティア清掃	通学時交通安全誘導 会社周辺の清掃 ボランティア清掃	通学時交通安全誘導 会社周辺の清掃 ボランティア清掃

※基準年（2019）の電力の二酸化炭素排出量は0.636 kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用しました。

※2023年度の電力の二酸化炭素排出量は0.511 kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用しました。

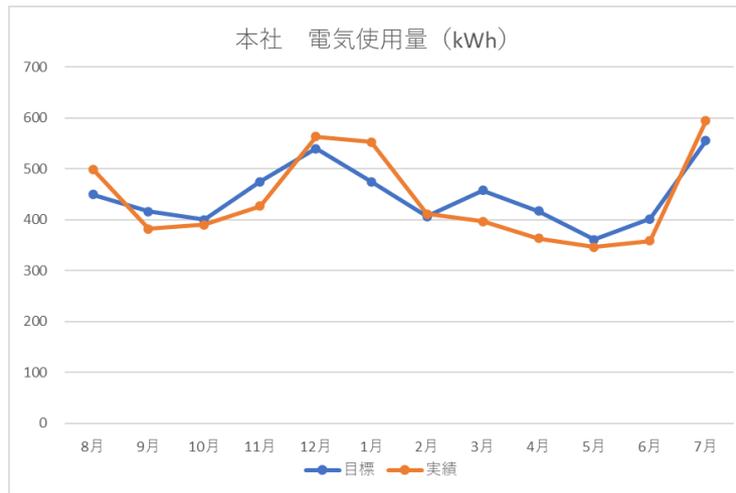
## 6.環境経営目標・計画に基づき 実施した取組内容とその評価

環境目標		2023年度 2023年8月～2024年7月		取組内容	評価
I.二酸化炭素排出量の削減	本社	104,520 kg-CO <sub>2</sub>		・下記の各項による	△
	広島支店	(3か月) 6,314 kg-CO <sub>2</sub>		・下記の各項による	△
I-1)電力の使用量削減	本社	5,325 kWh		・室内温度の管理 冷房28℃・暖房22℃ ±2℃の厳守	△
	業務管理	10,551 kWh		・エアコンフィルターの定期的な清掃 ・照明やOA機器やPCの電源管理 未使用箇所の消灯 OA機器やPCの省エネモードON	○ ○ ○
	広島支店	(3か月) 1,860 kWh			
I-2)自動車燃料の使用量削減	営業部	ガソリン	13,720 L	・エコドライブの徹底 アイドリングストップ 効率的なルートでの営業、収集 エリア別営業活動の見直し 急加速、急停車の防止	○ △ ×
		軽油	22,963 L	・適正な車両の整備 タイヤの空気圧、オイルの定期点検	○ ○
	広島支店	ガソリン	(3か月) 2,109 L	・月間走行距離の測定 ・低公害車両の導入	○ ×
II.廃棄物排出量削減 1)一般廃棄物削減、 分別の徹底	ごみ事業部	1,159 kg 3R運動の推進		・廃棄物分別の徹底 収集場所を明確化し、資源ごみを分別する 紙ごみ・シュレッダーごみの資源化	○ ○ ○
	広島支店	(3か月) 52 kg 3R運動の推進		・両面印刷の推奨 ・提出保管文書のペーパーレス化推進	○ △

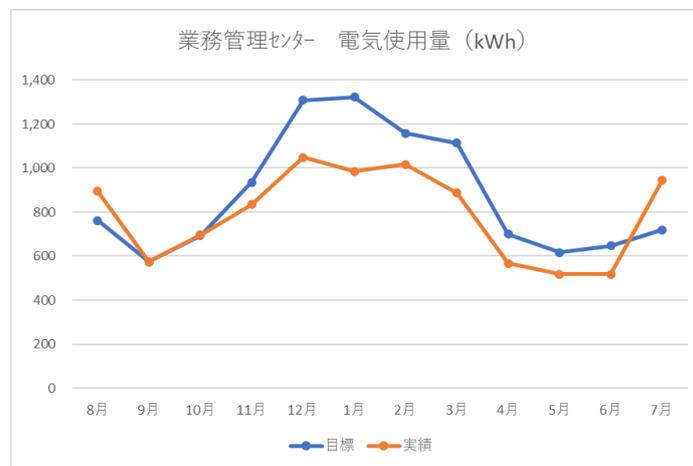
2)受入廃棄物のリサイクル率の向上	ごみ事業部	42.22 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別によるリサイクルの推進</li> <li>・手選別の徹底</li> <li>・リサイクルルートの拡大</li> <li>・客先への分別の徹底の依頼</li> </ul>	○ ○ ○ △
3) 建設廃棄物リサイクルの推進	建築部	マニフェスト適正管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別による最終処分量の削減</li> <li>・マニフェスト管理</li> </ul>	○ ○
	広島支店			
Ⅲ.水使用量の削減	本社	162 m <sup>3</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水運動の推進</li> <li>・節水表示の掲示</li> <li>・冷温水機による水使用量の把握</li> <li>・洗車・洗濯時の井戸水使用</li> </ul>	○ ○ ○ ○
	業務管理	44.1 m <sup>3</sup>		
	広島支店	(3か月) 24 m <sup>3</sup>		
Ⅳ.化学物質使用量の削減、適正管理	業務管理	適正管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学物質の成分や過去の使用量実績など調査し、目標を定める。</li> <li>・代替え製品の検討</li> <li>・使用量、在庫管理</li> <li>・施錠保管、漏洩防止、識別表示</li> </ul>	△  △ △ ○
	広島支店			
Ⅵ.環境活動の実施	本社	通学時交通安全誘導 会社周辺の清掃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学時に交通安全誘導を行う。</li> <li>・会社周辺の清掃</li> <li>・ボランティア清掃</li> </ul>	○ ○ ○

## 7.環境経営目標の実績及び取組結果とその評価 並びに 次年度の取組み内容

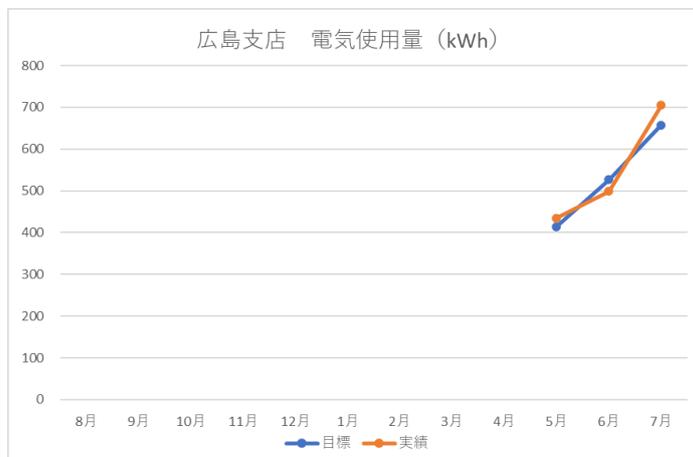
環境目標		2023年8月～2024年7月		評価及び次年度の取組み内容
		環境目標	実績	
I. 二酸化炭素出量の削減	本社	104,520 kg-CO <sub>2</sub>	136,051 kg-CO <sub>2</sub>	目標値を30.1%上回った。業務拡大で環境負荷の高いガソリン・軽油使用量が増加した。次年度は取組の周知徹底に努め、電力・化石燃料使用の削減に向けた個人の意識づけを図りたい。
		前年 129,309 kg-CO <sub>2</sub>		
	広島支店	(3か月) 6,314 kg-CO <sub>2</sub>	5,612 kg-CO <sub>2</sub>	目標値を11.1%下回り、達成できた。初年度ながら意識的に活動し、大きな結果がでた。次年度は活動を継続し、各事業所への周知徹底と取組みの活性化に努める。
I-1)電力の使用量削減	本社	5,352 kWh	5,284 kWh	1.3%の減少となり、目標を達成することができた。比較的暖冬であったため、冬場の電力量が抑えられた。一方で猛暑による熱中症対策のため、設定温度を守れない日があった。その他の季節は目標値を概ね達成できた。乾湿計の設置や扇風機の活用で空調温度の適正管理に取り組むことができた。次年度は大半が仮事務所での活動になるが、取組内容を継続しつつ、広い室内での適正管理に努めたい。
		前年 5,770 kWh		
	業務管理	10,551 kWh	9,487 kWh	10%の減少となり、目標を達成することができた。とくに冬場の使用量が大きく抑えられた。個々の活動意識向上がよい結果へとつながった。夏場は作業後のクールダウンのため、エアコンを多用する傾向。休憩時のみエアコンを使用するなど、ルール作りも大切にする。次年度は節電の習慣化と取組内容を継続し、この結果を他の項目の糧にしたい。
		前年 10,492 kWh		
	広島支店	(3か月) 1,860 kWh	1,639 kWh	11.8%減少し、目標を達成できた。7月の猛暑から空調の適正管理ができなかった。次年度は取組内容を継続し、乾湿計の設置や扇風機の活用で空調温度の適正管理に取り組む。



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
基準年	468.35	433.20	416.57	494.00	561.93	494.00	423.23	476.90	434.15	376.20	418.00	578.55
目標	449.62	415.87	399.91	474.24	539.45	474.24	406.30	457.82	416.78	361.15	401.28	555.41
実績	498.80	382.00	390.45	426.55	562.88	552.90	411.35	396.63	363.38	346.28	358.63	593.75

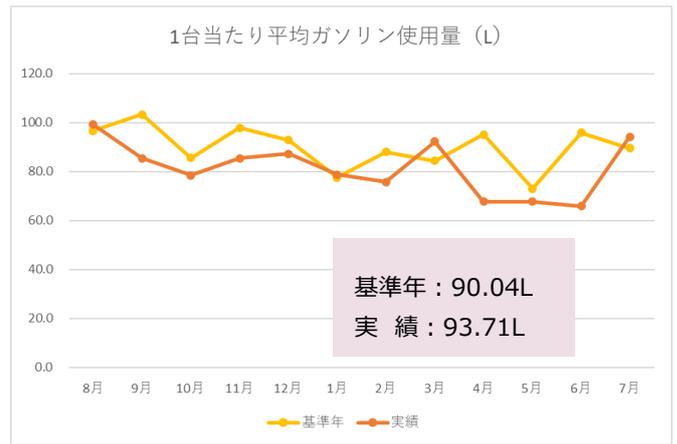
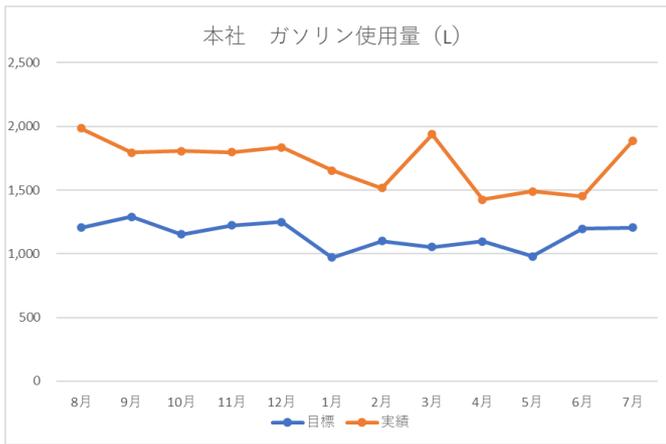


	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
基準年	794.00	598.00	721.00	975.00	1,364.00	1,378.00	1,206.00	1,160.00	730.00	643.00	673.00	749.00
目標	762.24	574.08	692.16	936.00	1,309.44	1,322.88	1,157.76	1,113.60	700.80	617.28	646.08	719.04
実績	895.00	574.00	697.00	835.00	1,049.00	984.00	1,016.00	887.00	568.00	518.00	518.00	946.00

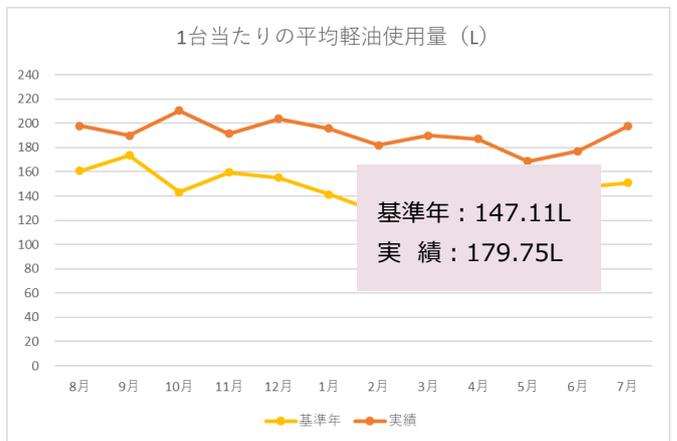
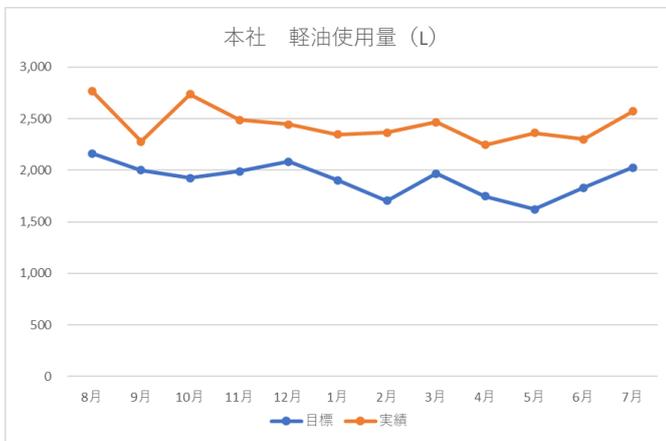


	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
基準年										432	549	685
目標										414.72	527.04	657.60
実績										435.00	499.00	705.00

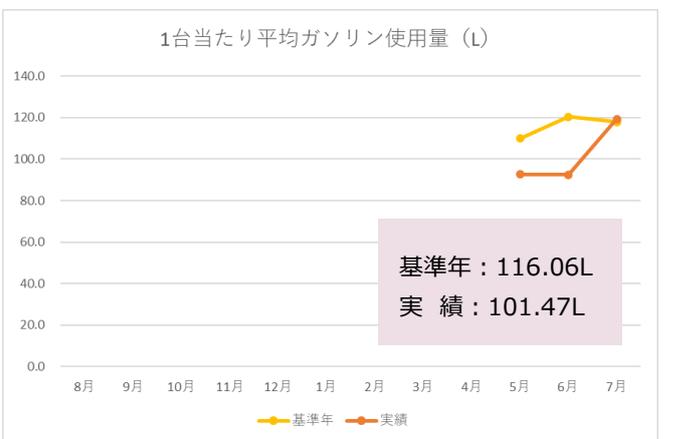
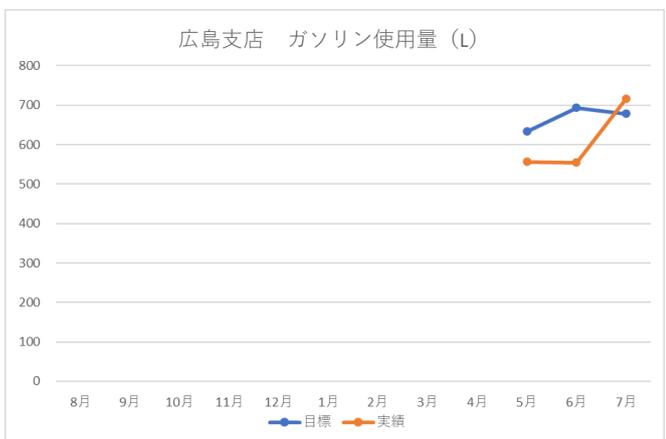
環境目標		2023年8月～2024年7月		評価及び次年度の取り組み内容	
		環境目標	実績		
I-2)自動車 燃料の使用 量削減	営業部	ガソリン	13,720 L	20,581 L	50%増加となった。前年3%減。業務拡大による遠方への走行や増員・増車が影響している。基準年度より平均8台増車しているが、1台当たりの平均使用量は10%減少した。走行距離とオイル点検の記録が定着してきた。毎月のヒヤリハット報告では車両の案件が尽きないため、継続して車両管理の徹底と安全運転に努める。次年度は営業ルートの見直しや乗り合わせを工夫して無駄な走行を減らし、成果につなげたい。
			前年 21,145 L		
	ごみ事業部	軽油	22,963 L	29,375 L	
			前年 27,656 L		
	広島支店	ガソリン	(3か月) 2,109 L	1,827 L	



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
基準年	1,256.60	1,343.15	1,199.61	1,273.03	1,300.17	1,009.92	1,145.62	1,098.20	1,142.88	1,022.06	1,247.10	1,254.45
目標	1,206.34	1,289.42	1,151.63	1,222.11	1,248.16	969.52	1,099.80	1,054.27	1,097.16	981.18	1,197.22	1,204.27
実績	1,986.26	1,794.78	1,805.95	1,797.04	1,834.14	1,655.10	1,516.67	1,939.05	1,423.83	1,490.06	1,451.71	1,886.23



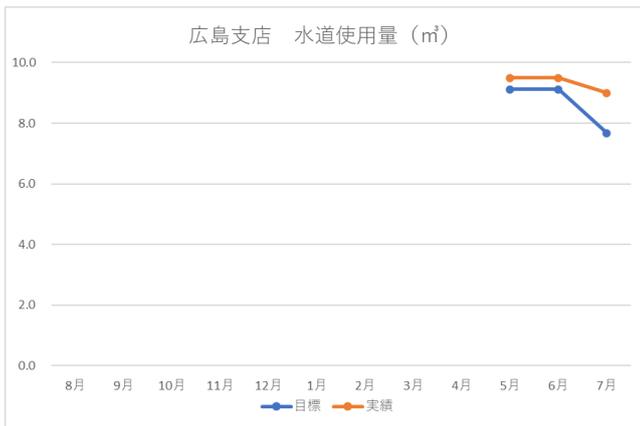
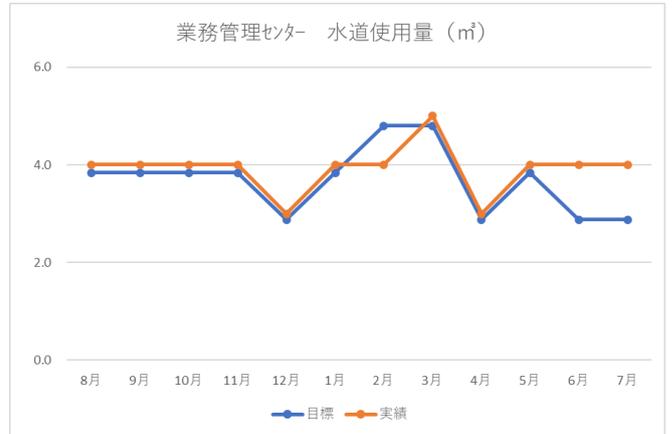
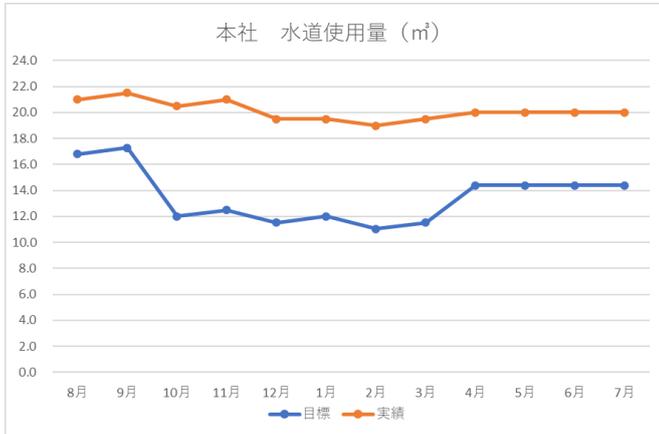
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
基準年	2,252.26	2,083.77	2,006.31	2,074.15	2,171.22	1,980.74	1,774.07	2,049.41	1,819.13	1,688.39	1,908.71	2,111.95
目標	2,162.17	2,000.42	1,926.06	1,991.18	2,084.37	1,901.51	1,703.11	1,967.43	1,746.36	1,620.85	1,832.36	2,027.47
実績	2,769.43	2,278.45	2,737.81	2,488.19	2,446.25	2,347.74	2,363.81	2,466.95	2,245.38	2,361.73	2,299.51	2,569.68



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
基準年										660.00	722.00	707.00
目標										633.60	693.12	678.72
実績										556.05	554.92	715.55

環境目標		2023年8月～2024年7月		評価及び次年度の取り組み内容	
		環境目標	実績		
Ⅱ.廃棄物排出量削減 1)一般廃棄物削減、分別の徹底	本社	1,159 kg 3R運動の推進	896 kg	目標値を15%減量し達成することができた。ごみのお大半を占める紙類・シュレッダーごみの分別やミスプリント削減の意識づけが定着している。次年度は本社建替えがあり、大きく廃棄予定。資源ごみとなるよう分別作業を徹底する。また郵便料金値上げに備え請求書のペーパーレス化を推進する。	
		前年 1,330 kg			
	広島支店	(3か月) 52kg 3R運動の推進	72 Kg		目標を38%上回った。ごみの収集場所を分けて設置している。両面印刷を心掛け、PDFを利用する等ペーパーレス化を意識し実践している。基準年は概算であったため、次年度からは2023年度を基準年とする。
2)受入廃棄物のリサイクル率の向上	ごみ事業部	42.22 %	42.95 %	目標値を達成することができた。年々増えている空家整理での分別作業や事業所への紙類・シュレッダーごみ分別の声掛けがよい結果につながった。収集量の多さから1%上げることも困難であるが、次年度も自社での分別と地道な呼び掛けを続ける。	
		前年 38.66 %			
3) 建設廃棄物リサイクルの推進	建築部	マニフェスト適正管理	マニフェスト適正管理 リサイクル率 98 %		再資源化率98%と目標値まであと一歩ながら、昨年と比べると大きくリサイクル率が向上した。次年度も分別徹底によるリサイクル率向上とリサイクル資材の使用や工事提案を検討していく。
		前年 リサイクル率 34.4 %			
	広島	マニフェスト適正管理	マニフェスト適正管理	該当なし。	
Ⅲ.水使用量の削減	本社	162 m <sup>3</sup>	242 m <sup>3</sup>	49%の増加となった。1年間の使用量が平均していた。増員の影響か。節水を呼び掛ける一方で、感染症拡大防止のための手洗い励行を進めている。次年度は仮事務所での活動となるが、取組内容を周知徹底し、継続する。	
		前年 226 m <sup>3</sup>			
	業務管理	上水 44 m <sup>3</sup>	上水 47 m <sup>3</sup>		上水使用量は4%増量した。地下水使用量は5%減量できた。年間を通じて目標の近似値であった。用途に応じた使い分けができています。夏場は悪臭や衛生面から洗濯や洗車をこまめに行っている。次年度は地下水も大切な資源と捉え、時期や使用方法の工夫に取り組む。
		前年 上水 44 m <sup>3</sup>			

	広島支店 (3か月) 上水 24 m <sup>3</sup>	上水 28 m <sup>3</sup>	16%増量した。事務所での現場の洗濯物（タオル・モップ）が増えたので、洗濯機の利用回数が増えた。次年度は洗濯物をまとめるなど節水に努めたい。
--	---------------------------------------	----------------------	--



環境目標		2023年8月～2024年7月		評価及び次年度の取り組み内容
		環境目標	実績	
IV.化学物質使用量の削減、適正管理	業務管理	使用料記録 適正管理	使用料記録 適正管理	購入量は1年と通して目標値を13%上回ったが、使用含有量は昨年度より30%減量できた。作業内容で大きく変動するが、使用量の記録と適正管理を重点目標としている。次年度も使用量の管理を徹底し、ロスのない現場管理を心掛け、だれでも分かりやすい管理手順書を作成、運用する。
	広島支店	使用料記録 適正管理	使用料記録 適正管理	期間内に購入なし。使用量の管理・在庫管理できている。代替え製品で特定化学物質を含有している商品品目を減らした。
VI.環境活動の実施	本社	環境活動への継続的参加  通学時交通安全誘導 会社周辺の清掃 セルフチェックシート	環境活動への継続的参加  通学時交通安全誘導 会社周辺の清掃 セルフチェックシート	<p>毎週通学時の交通安全誘導を行った。併せてゴミ拾いを実施した。7月にはボランティア活動として西城市民病院の清掃を実施した。日常清掃で行き届かない箇所を渉外課スタッフが清掃した。後日「お便り「すずらん」にてご紹介いただきました。また、昨年同様に庄原市立庄原小学校のガラス清掃を実施した。11月には4年ぶりに庄原さくら学園にて清掃ボランティア活動を実施した。地域に生かされている企業として、今後も地域への還元を続けていきたい。</p> <p>同11月には全体の安全大会を実施した。昨年交通事故や車両トラブルを受け、西田産業堀江常務による「自動車の管理について」の講演を開催。一層の安全意識向上につながった。</p> <p>電気使用量・ごみ排出量やリサイクル率で目標を達成することができた。社員一人一人の意識定着が見受けられる。一方で環境負荷の高いガソリン・軽油量は増加傾向。よい結果を活動の糧とし、今後も周知徹底と「私たちのエコアクション」を募るなど、工夫を重ねたい。</p>
■二酸化炭素総量	本社	136,051.97 kg-CO <sub>2</sub>		
	広島支店	5,612.26 kg-CO <sub>2</sub>		
	合計	141,664.23 kg-CO <sub>2</sub>		

## ■その他の環境経営 取組内容・活動



2023.11.5  
庄原さくら学園において、4年ぶりにボランティア活動を行いました。昨年は2002年から継続していた活動に表彰状をいただきました。22名のスタッフが参加し、トイレ・流し台・ガラス清掃を中心に行いました。施設長さんを初めスタッフの皆さんが声をかけてくださいました。

2023.11.27

安全大会を開催しました。車両事故やトラブルの発生から、西田産業 堀江常務より「自動車の管理について」の講演をしていただきました。また、安全衛生報告、安全標語の表彰、安全宣言を行いました。47名のスタッフが参加し、安全意識の高揚につながりました。



### 労働安全衛生会議

月に一度、労働安全衛生会議を開催しています。参加者は交代で講師を務め、5Sの推進・KYT・HH・交通安全・情報セキュリティ・心と体の健康保持など、さまざまな議題について講義をします。KYTは各事業所でも取組み、多くの安全の気付きがあり、日々の安全作業を見直すことができました。





## 8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### 1) 適用となる主な環境関連法規

主な環境関連法規等と該当する活動は、下記の通りです。

環境関連法規等	適用される事項	遵守状況確認・評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正処理	○
	マニフェスト交付と保管	○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告	○
	下請人による建設工事産廃物等の運搬・処分委託	○
騒音規制法	特定建築作業の届出	該当なし
振動規制法	特定建築作業の届出	該当なし
水質汚濁防止法	油及び有害物質の流出事故時の措置と届出	該当なし
浄化槽法	保守点検、清掃、記録の保管（3年間）	○
	定期水質検査	○
改正大気汚染防止法	解体等工事における「特定工事」事前調査及び報告	該当なし
フロン排出抑制法	フロン類の登録充填回収業者による適切な引き渡し	該当なし
	業務用エアコンの簡易点検	○
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	性状及び取扱に関する情報（SDS）の受取・発行	○
労働安全衛生法	SDS義務640物質のリスク評価のための情報収集	○
NO <sub>x</sub> ・PM法	対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用	○
建設リサイクル法	分別解体等及び再資源化等の実施義務	該当なし
廃掃法	一般及び産業廃棄物事業許可証の有効期限、契約書有効期限	○
	一般廃棄物処理量実績報告	○
家電リサイクル法	家電リサイクル票の保管(3年)	○
小型家電リサイクル法	分別・資源化の適正実施推進	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正処理	○
	新車購入時車両のリサイクル料金を支払	○
プラスチック資源循環促進法	排出の抑制・再資源化等の取組、従業員教育訓練	○

### 2) 違反訴訟等の有無

弊社の事業活動に関する法令違反は過去4年間ありませんでした。関係当局よりの違反等の指摘はなく、訴訟もありませんでした。

## 9. 環境管理責任者による全体の評価と見直し指示の結果

2021年から取り組み始めたエコアクション21ですが、本年は丸1年の運用をした3年目の年度になります。今年度からは、さらなる運動の前進のために、広島支店にも評価を広げました。来年度からはどちらの事業所も丸1年での運用になり、より推進ができるかと思えます。

さて、目標に掲げている数値との比較では、まだ掲げている目標値に対して届かない部分もありますが、間違いなくエコアクション21に取り組み始めた効果が数値的に見られるようになってきたように感じます。前年は、コロナ禍が一服し、通常の社会活動・経済活動に戻っていることを反映している側面と、社内的な体制の見直しによる影響により、目標値に対して、実績が大幅に上回ってしまう傾向が強かったですが、今年度については、少なくとも、前年比較をした時には、比較的、良好な傾向が見えていることがその証左です。

まず、二酸化炭素排出量については、本社では前年比較で5.2%程度の増加で、目標値と比べると、3割程度、多い数値となってしまいました。これは社用車の燃料消費の影響が多いと考えられます。業務拡大により、社用車の台数が増えていることありますが、より一層、社内にてアイドリングストップやエコドライブの励行を声かけする必要があるでしょう。一方で、広島支店については、目標値よりも11%程度、良好な結果を示しました。これは人員が減少したことによる影響もあるかと思えます。今後、1年間での計測により、データ確度を上げていくことで、より一層、精緻な分析ができるようになるのではないのでしょうか。

次に、電力使用量については、業務管理センター新設後3年が経過し、警備講習や各課の月次ミーティングなど、2階会議スペースの有効活用化が進み、比較的暖冬だったことも味方し、前年度の数値よりも実績が良好なだけでなく、目標値よりも良好な結果となりました。隔月のデータを見ると、夏場については目標値を大幅に上回っている傾向がまだ見られます。現場作業員の現場での作業環境改善の一つとして、送風ファン付き作業服を支給したため、その充電などの影響もあったかもしれませんが、また、現場から戻って、一時的に急速に冷房をつけているなどの悪習慣が社員の中ではまだあることも原因の一つかと思えます。しかし、このように、各単位で、環境目標に対して、良好な結果が得られたのは、今年度が初めてのことかと思えます。これを継続していくために、より一層、社内でのエコアクションに対する意識の定着を図っていききたいと思います。

社用車の燃料使用量については、ガソリン使用量としては前年に比べて、本社では良好な傾向が見られ、広島支店についても目標値よりも良好な結果となりました。社用車の適正化を図ったことも一因かと思えます。一方で、ごみ事業部を中心とした軽油使用量については、前年を大幅に上回る結果となってしまいました。社会課題でもある空き家のごみ片付け事業の活性化などが大きな要因かと思えます。燃費性能が優れる車両を新たに入れるなども検討する必要がありますが、一方で、車両一台のコストがここ数年で急激に上昇していることもあり、現状ある車両がしっかりとメンテナンスしながら、大事に使っていくことも一つの大事なエコアクションかとも思いますので、その両輪で進めていきたいと思っています。地域的に、営業でも実現場作業でも車両を用いた移動が必須なため、業容の拡大に伴い、燃料使用量が増えてしまいがちですが、一方で、今年度はミーティング等の活性化により、車両管理の徹底と安全運転の励行については一定の効果が見られました。安全は、事業継続の要ですので、これは継続していかなければならないと思えます。

廃棄物排出量については、自社で業として展開していることを踏まえ、顧客に対して、リサイクルの呼びかけや紙類・シュレッダーごみの再資源化の呼びかけを実施しています。自社分については、前年比30%以上の減少が見られ、目標値よりも良好な結果が得られました。今後は、デスクトップPCからノートPCへ、徐々に移行可能な部署の人間から移行し、会議のペーパーレス化や業務のテレワーク化の可能性なども探っていききたいと思います。受入廃棄物のリサイクル率についても、前年よりも良好な結果で、目標値を上回ることができました。空き家等の片付け時の分別が、現場作業員の熟練化に伴い、改善したことも要因ではないのでしょうか。

水使用量については、前年よりも多い結果がどの事業場でも見られました。業務管理センターも含めて、衛生面から水による清掃・洗濯や車両の洗い上げの励行などもしていることも影響しているかもしれません。これについては、今回の結果を全体でも周知することで、次年度に活かしていければ、と思います。

その他、数値には現れない面で、社内でのボランティア活動が前年よりも活発になっていること、ミーティングが定期的に部内等でしっかりと実施されるようになってきていること、社内コミュニケーションの一助として、社内報を復刊したことなど、社内活動としては良いことが多かった一年だったのではないのでしょうか。一方で、まだまだ社員一人ひとりが能動的に動くようにはなっていないようにも思います。お客様のために、また、同僚のために、地域のために、それぞれの目線で、気付いたことをすぐさま行動に移せる人材になってもらうよう、少しずつでも教育をしていかなければなりません。今はまだ、その前段階の「気付けない」ことが多い状況のことも多いです。より一層、このエコアクションも一つのツールとして捉えて、社内の改善に結びつけていきたいと思っています。

また、次年度は、老朽化した本社建替に伴い、この11月から仮事務所に移動します。本社建替完成は2025年11月頃を予定して、計画を進めていますが、エコアクションの観点からも効率的で働きやすい会社環境を確保していくようにしていきたいと思っています。

指示事項	1. 環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	
	2. 環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり	実績を踏まえて見直す
	3. 実施体制	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり	代表交代・退職に伴う退任

2024年 9月30日

株式会社 チューゲイ 代表取締役 西田 輝之